
伊勢崎佐波地区 景気動向調査

No.61 2018.4~6月期

Contents

- 概況 …… 3期ぶりに悪化するも
来期は改善の見通し
- 特別調査 …… 中小企業経営に関する各種支援制度の
利用について

 伊勢崎商工会議所

 アイオーしんきん

調査方法について

伊勢崎商工会議所とアイオー信用金庫が共同し、伊勢崎市及び佐波郡玉村町内の企業386社にご協力いただき、面談または聴取りによる調査の回答を集計したものです。

製造業、卸売業、小売業、建設業、サービス業の5つの業種について3か月ごとに景気の動きを調査し、最新の動きをまとめております。

独立行政法人中小企業基盤整備機構並びに日本商工会議所の実施する全国規模の調査結果を一部引用しております。また、毎回テーマを設け「特別調査」を実施しております。

今回の調査について

調査時期	2018年6月
調査内容	① 今期の状況：前年の同時期（2017年4月～6月）と比較した今期（2018年4月～6月）の状況及び前期（2018年1月～3月）と比較した今期の状況。 ② 来期の見通し：前年の同時期（2017年7～9月）と比較した来期（2018年7月～9月）の見通し。
調査方法	伊勢崎商工会議所及びアイオー信用金庫の調査員による面談または聴取り調査
調査対象企業数	伊勢崎市及び佐波郡玉村町内の企業 386社
回答企業数	360社
回答企業業種別内訳	下表のとおり

業種	回答企業数	調査対象企業数	回答率
製造業	106	117	90.6%
卸売業	25	29	86.2%
小売業	91	93	97.8%
建設業	57	61	93.4%
サービス業	81	86	94.2%
合計	360	386	93.3%

調査結果の分析について

調査結果の分析には、判断指数（Diffusion Index-D.I.）を用いております。この判断指数（D.I.）とは、「良い」とする回答数から「悪い」とする回答数を引き、全体に占める割合を算出したもので、この指数の変動により、景気の動いている方向を判断するために用いられます。

1. 業況

3期ぶりに悪化するも 来期は改善の見通し

今期（2018.4～6）の企業の景況感を示す全業種の業況判断 D.I.は、 $\Delta 10.6$ と前期（2018.1～3： $\Delta 4.9$ ）との比較で 5.7 ポイント悪化しました。マイナスの判断が続いている中であって、2016.7～9 期以降は緩やかな改善基調が続いていましたが、今期は悪化の判断に転じています。業種別でも全ての業種で悪化しているほか、卸売業では業況判断がマイナスに転じています。

独立行政法人中小企業基盤整備機構が実施し、日本商工会議所他 2 団体が実施した全国調査（以後「全国調査」という。）との比較では、全業種の業況判断 D.I.は全国調査を 5.5 ポイント上回っているほか、業種別の業況判断でも卸売業以外の業種で全国調査の業況判断 D.I.を上回る結果となっています。一方、全国調査の業況判断 D.I.が前期 $\Delta 19.3$ から $\Delta 16.1$ へと 3.2 ポイント改善しているのに対し、当地域の全業種の業況判断 D.I.は前期比で 5.7 ポイント悪化しています。

来期（2018.7～9）の業況判断 D.I.の見通しは、 $\Delta 6.4$ と依然としてマイナス判断が続くものの、今期（2018.4～6： $\Delta 10.6$ ）との比較で 4.2 ポイント改善するとしています。業種別では小売業以外の業種で改善を予想しているほか、項目別でも売上、採算、従業員増減などで判断 D.I.が改善するとしています。

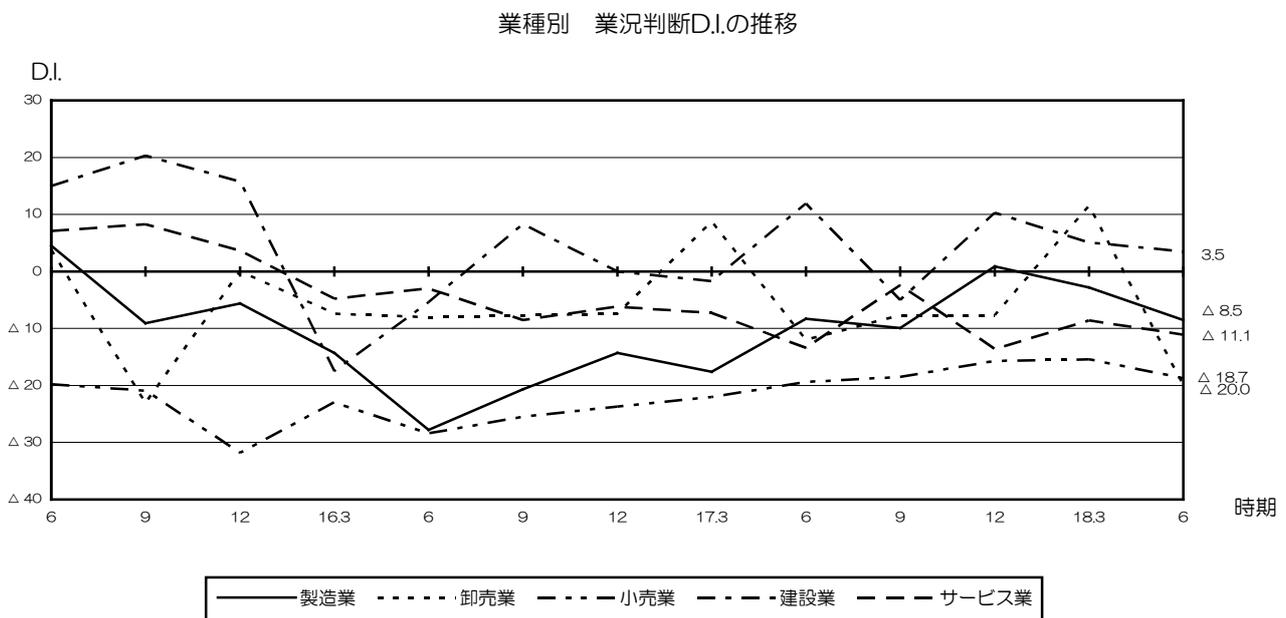
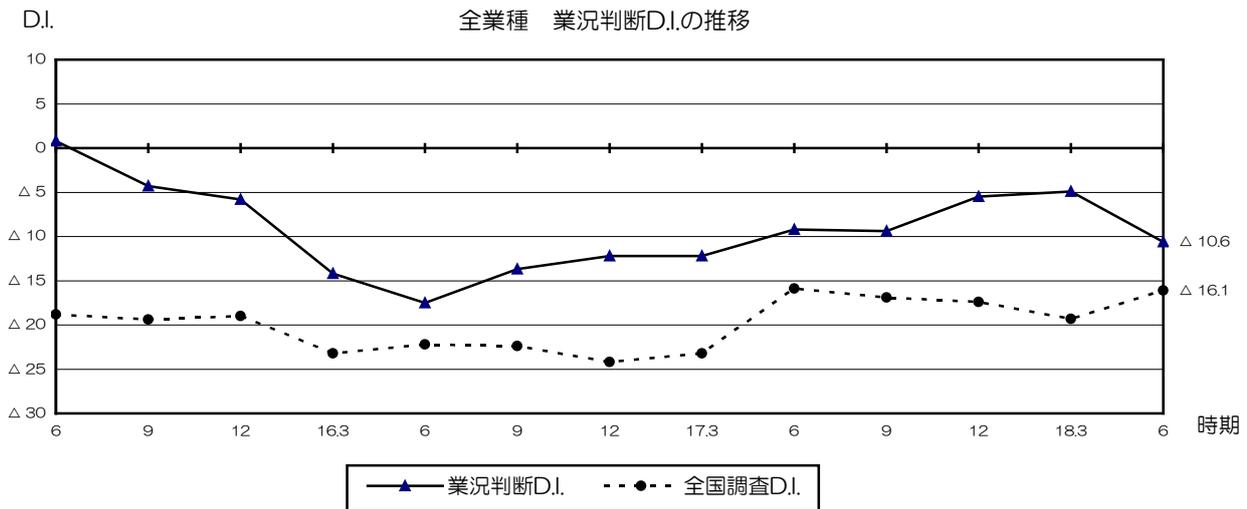
業 種 別 天 気 図

	前 期 2018.1～3月	今 期 2018.4～6月	全 国 調 査 2018.4～6月	来 期 見 通 し 2018.7～9月
全 業 種				
製 造 業				
卸 売 業				
小 売 業				
建 設 業				
サ ー ビ ス 業				

（この天気図は、景気指標を総合的に判断し作成したものです。また、全国調査は日本商工会議所の調査によるものです。）



2. 業況判断D.I.の推移



(対前年同期比判断D.I.)

	前 期 2018.1~3	今 期 2018.4~6	来 期 見 通 し 2018.7~9	全 国 調 査 2018.4~6
全 業 種	△4.9	△10.6	△6.4	△16.1
製 造 業	△2.8	△8.5	△1.9	△9.4
卸 売 業	11.5	△20.0	△12.0	△15.9
小 売 業	△15.4	△18.7	△22.0	△30.0
建 設 業	5.1	3.5	14.0	△6.6
サ ー ビ ス 業	△8.6	△11.1	△7.4	△14.6

(全国調査は日本商工会議所の調査によるものです。)

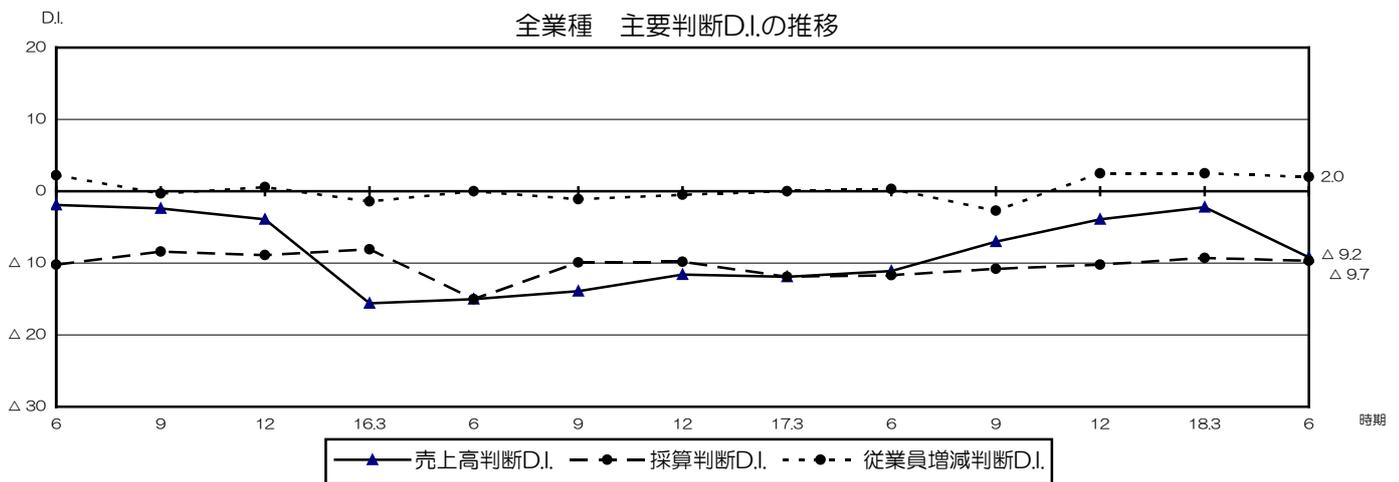
3. 売上高、採算、従業員増減の状況

(対前年同期比判断D.I.)

今期（2018.4～6）の売上高判断D.I.は $\Delta 9.2$ と、前期（2018.1～3： $\Delta 2.2$ ）との比較で7.0ポイント悪化しています。また、採算判断D.I.で0.4ポイント、従業員増減判断D.I.でも0.5ポイントそれぞれ悪化しています。

	前 期	今 期	来期見通し
売 上 高	$\Delta 2. 2$	$\Delta 9. 2$	$\Delta 6. 4$
採 算	$\Delta 9. 3$	$\Delta 9. 7$	$\Delta 8. 4$
従業員増減	2. 5	2. 0	3. 1

来期（2018.7～9）の売上高判断D.I.は $\Delta 6.4$ と、今期（2018.4～6： $\Delta 9.2$ ）との比較で2.8ポイント改善すると見通しています。また、採算判断D.I.で1.3ポイント、従業員増減判断D.I.でも1.1ポイントそれぞれ改善すると見通しています。



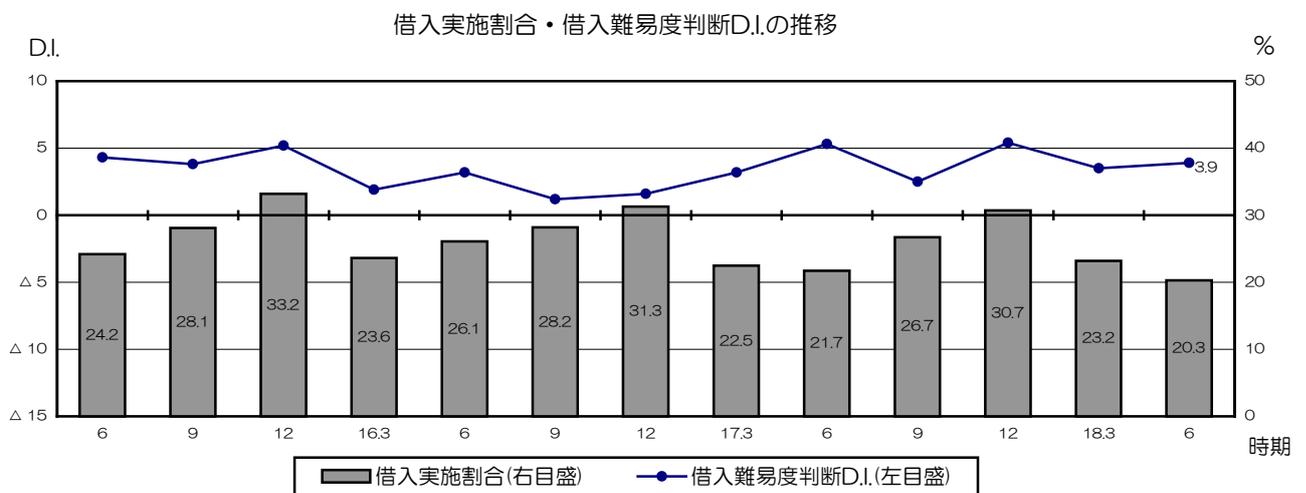
4. 借入金の状況

今期（2018.4～6）借入を実施した企業の割合は20.3%と、前期（2018.1～3：23.2%）との比較で2.9ポイント減少しました。

	前 期	今 期	来 期 予 定
借入実施割合	23. 2%	20. 3%	21. 9%
借入難易度判断D.I.	3. 5	3. 9	

来期（2018.7～9）借入を予定する企業の割合は21.9%と、今期（2018.4～6：20.3%）との比較で1.6ポイント増加する見込みです。

借入難易度判断D.I.は今期（2018.4～6）3.9と、前期（2018.1～3：3.5）との比較で0.4ポイント改善しています。



1. 業況

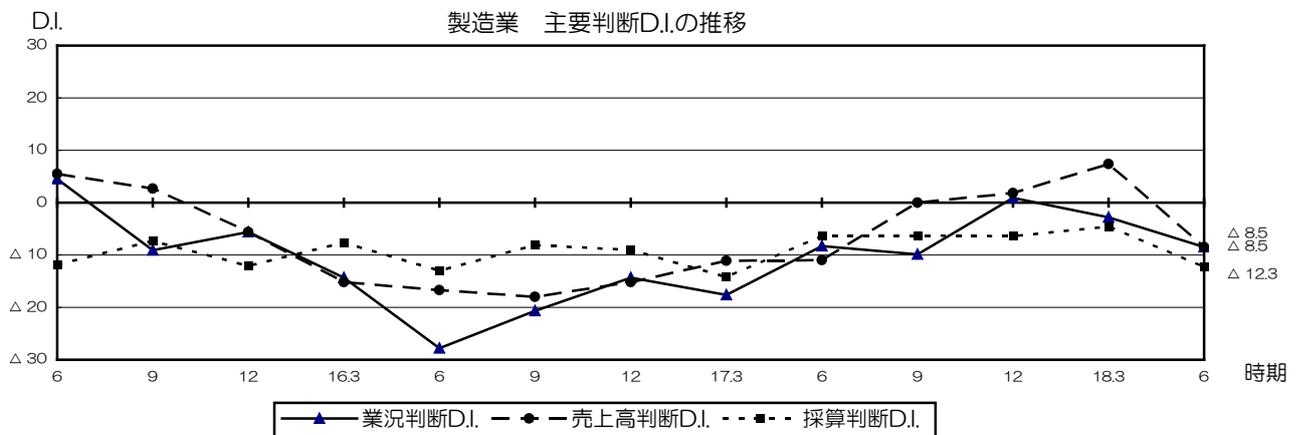
今期 (2018.4~6) の業況判断 D.I.は $\Delta 8.5$ と、前期 (2018.1~3 : $\Delta 2.8$) との比較で 5.7 ポイント悪化しました。また、原材料仕入単価、従業員増減を除く項目でも前期を下回っています。

全国調査との比較では、業況判断 D.I.で全国調査の $\Delta 9.4$ を 0.9 ポイント上回っているほか、採算、原材料在庫、従業員増減の項目で全国調査の判断 D.I.を上回る結果となりました。

来期 (2018.7~9) の業況判断 D.I.は $\Delta 1.9$ と、今期 (2018.4~6) との比較で 6.6 ポイントの改善を予想しているほか、原材料仕入単価、従業員増減以外の項目で今期を上回ると予想しています。

(対前年同期比判断 D.I.)

	前 期	今 期	来期見通し	全国調査
業 況	$\Delta 2.8$	$\Delta 8.5$	$\Delta 1.9$	$\Delta 9.4$
売上(加工)高	7.4	$\Delta 8.5$	0.9	$\Delta 7.0$
資金繰り	$\Delta 5.6$	$\Delta 9.4$	$\Delta 4.7$	$\Delta 7.9$
採 算	$\Delta 4.6$	$\Delta 12.3$	$\Delta 7.6$	$\Delta 14.1$
原材料仕入単価	25.9	30.2	22.6	49.9
原材料在庫	2.8	$\Delta 1.9$	0.0	$\Delta 3.2$
従業員増減	6.5	8.5	6.6	0.3
設備操業率	0.9	$\Delta 7.5$	1.9	$\Delta 5.0$



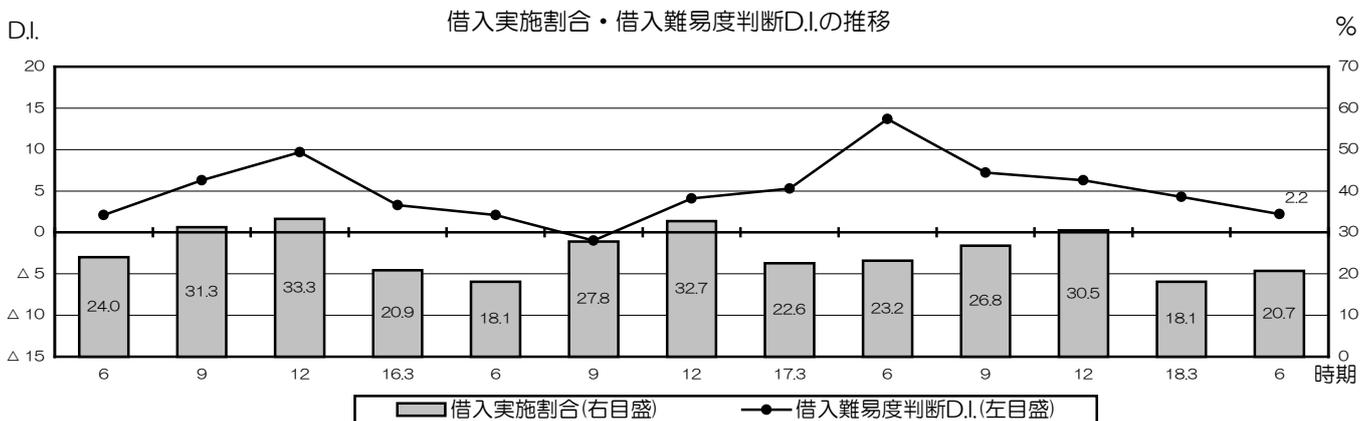
2. 借入金の状況

今期 (2018.4~6) 借入を実施した企業の割合は 20.7%と、前期 (2018.1~3 : 18.1%) との比較で 2.6 ポイント増加しました。

来期 (2018.7~9) 借入を予定する企業の割合は 20.7%と、今期 (2018.4~6 : 20.7%) と比較して変化がない見込みです。

借入難易度判断 D.I.は今期 (2018.4~6) 2.2 と、前期 (2018.1~3 : 4.3) との比較では 2.1 ポイント悪化しています。

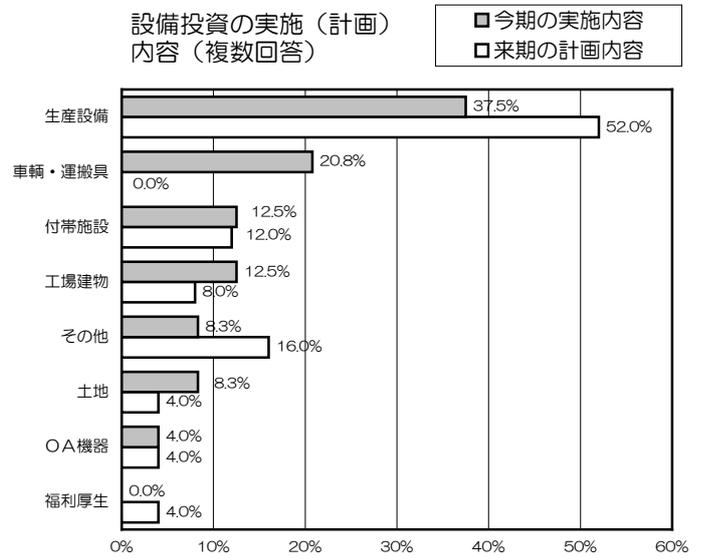
	前 期	今 期	来 期 予 定
借入実施割合	18.1%	20.7%	20.7%
借入難易度判断 D.I.	4.3	2.2	



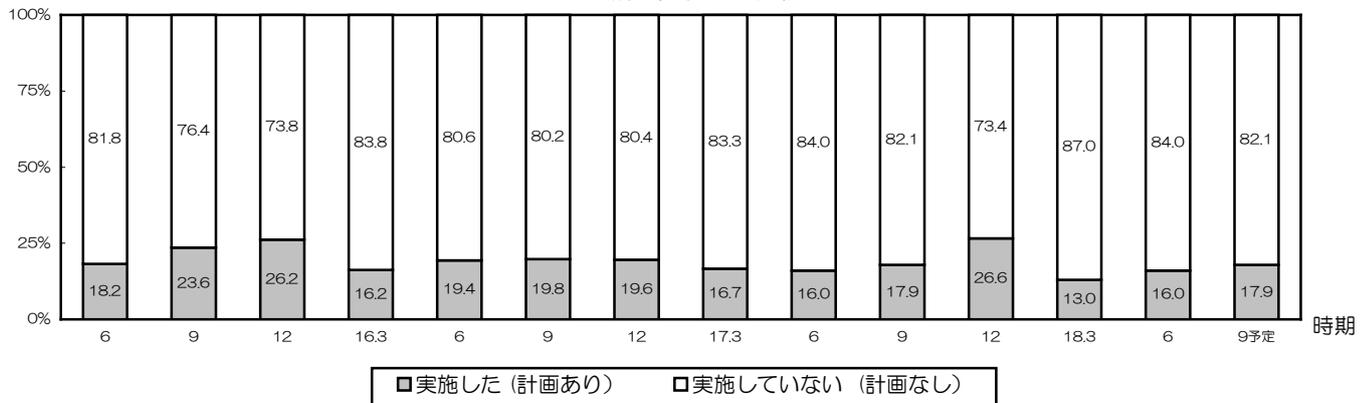
3. 設備投資の状況

今期（2018.4～6）設備投資を実施した企業の割合は16.0%と、前期（2018.1～3:13.0%）との比較で3.0ポイント増加しました。設備投資の内訳は、生産設備が37.5%、車輛・運搬具が20.8%、付帯施設、工場建物が各々12.5%、その他、土地が各々8.3%でした。

来期（2018.7～9）設備投資を計画する企業の割合は17.9%と、今期（2018.4～6）と比較して1.9ポイント増加する見込みです。設備投資の内訳は、生産設備が52.0%、その他が16.0%、付帯施設が12.0%、工場建物が8.0%、土地、OA機器、福利厚生が各々4.0%となっています。



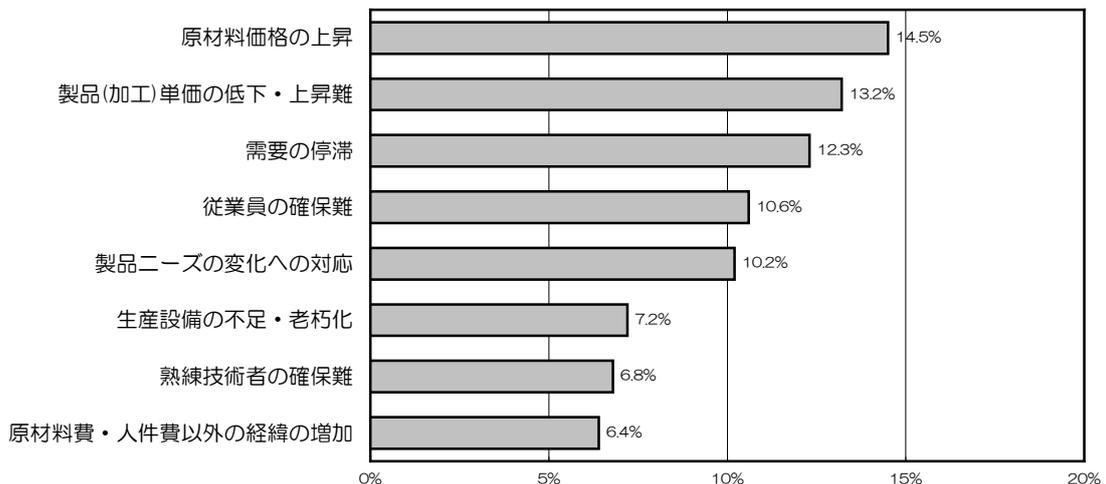
設備投資状況の推移



4. 経営上の問題点

主な経営上の問題点は、第1位が「原材料価格の上昇」で14.5%、第2位が「製品（加工）単価の低下・上昇難」で13.2%、第3位が「需要の停滞」で12.3%、第4位が「従業員の確保難」で10.6%、第5位が「製品ニーズの変化への対応」で10.2%、第6位が「生産設備の不足・老朽化」で7.2%、第7位が「熟練技術者の確保難」で6.8%、第8位が「原材料費・人件費以外の経費の増加」で6.4%という結果になりました。

今期直面している経営上の問題点（複数回答）



1. 業況

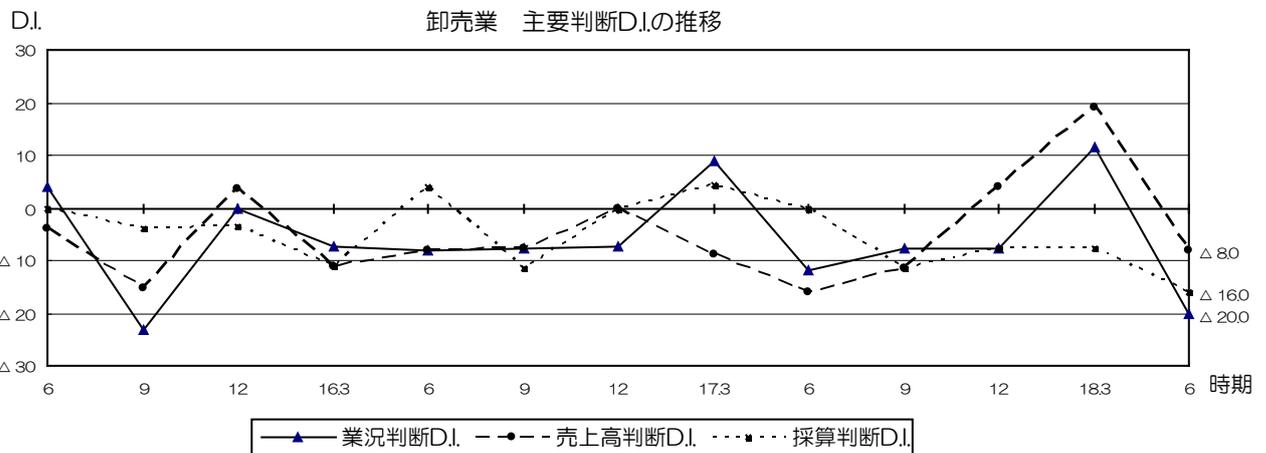
今期(2018.4~6)の業況判断D.I.は $\Delta 20.0$ と、前期(2018.1~3: 11.5)との比較で31.5ポイント悪化しマイナス判断に転じたほか、売上高、資金繰り、採算、在庫数量の項目で前期を下回っています。

全国調査との比較では、業況判断D.I.で全国調査の $\Delta 15.9$ を4.1ポイント下回っているほか、資金繰り、売上単価、仕入単価の項目でも全国調査の判断D.I.を下回る結果となりました。

来期(2018.7~9)の業況判断D.I.は $\Delta 12.0$ と、8.0ポイント改善するとしている一方で、売上高、資金繰り、採算、売上単価、仕入単価の項目では、今期と変わらないと予想しています。

(対前年同期比判断D.I.)

	前 期	今 期	来期見通し	全国調査
業 況	11.5	$\Delta 20.0$	$\Delta 12.0$	$\Delta 15.9$
売 上 高	19.2	$\Delta 8.0$	$\Delta 8.0$	$\Delta 17.9$
資 金 繰 り	$\Delta 3.8$	$\Delta 16.0$	$\Delta 16.0$	$\Delta 7.8$
採 算	$\Delta 7.7$	$\Delta 16.0$	$\Delta 8.0$	$\Delta 19.0$
売上単価	0.0	4.0	4.0	9.6
仕入単価	11.5	16.0	16.0	37.8
在庫数量	3.8	0.0	$\Delta 4.0$	$\Delta 11.1$
従業員増減	3.8	4.0	$\Delta 4.0$	$\Delta 0.3$



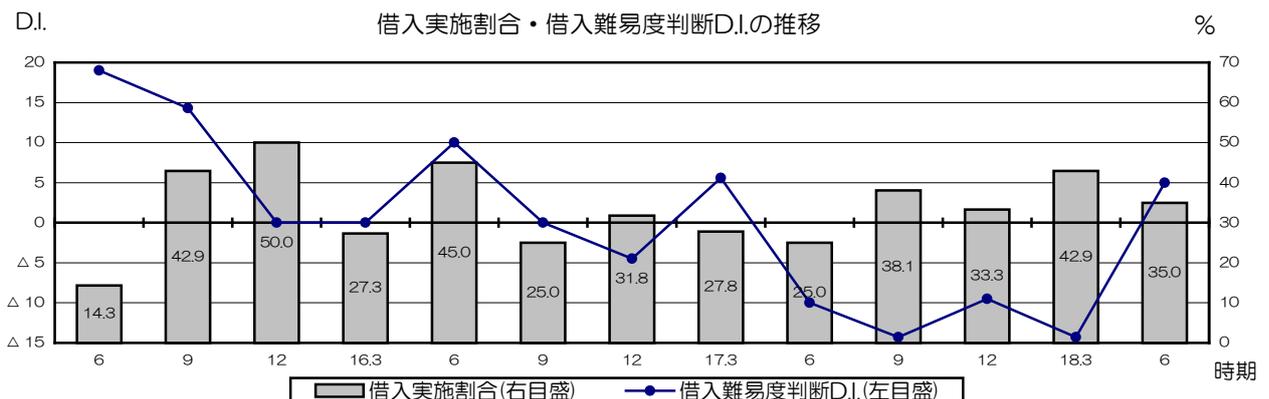
2. 借入金の状況

今期(2018.4~6)借入を実施した企業の割合は35.0%と、前期(2018.1~3: 42.9%)と比較して7.9ポイント減少しました。

来期(2018.7~9)借入を予定する企業の割合は20.0%と、今期(2018.4~6)と比較して15.0ポイント減少する見込みです。

借入難易度判断D.I.は今期(2018.4~6)5.0と、前期(2018.1~3: $\Delta 14.3$)との比較では19.3ポイント改善しています。

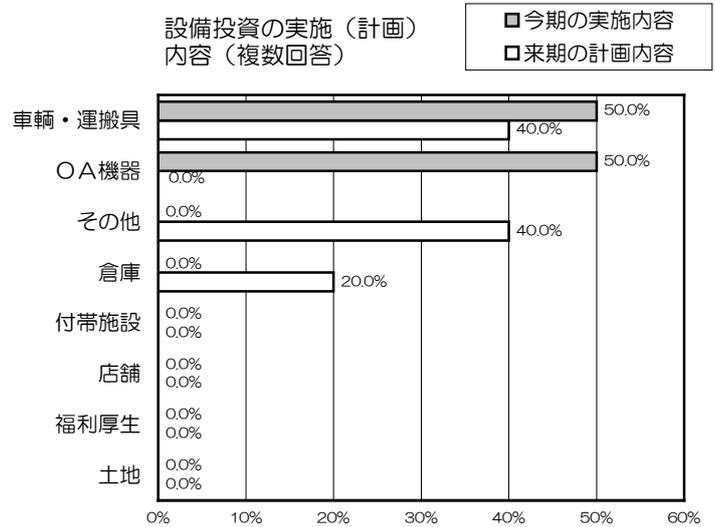
	前 期	今 期	来 期 予 定
借入実施割合	42.9%	35.0%	20.0%
借入難易度判断D.I.	$\Delta 14.3$	5.0	



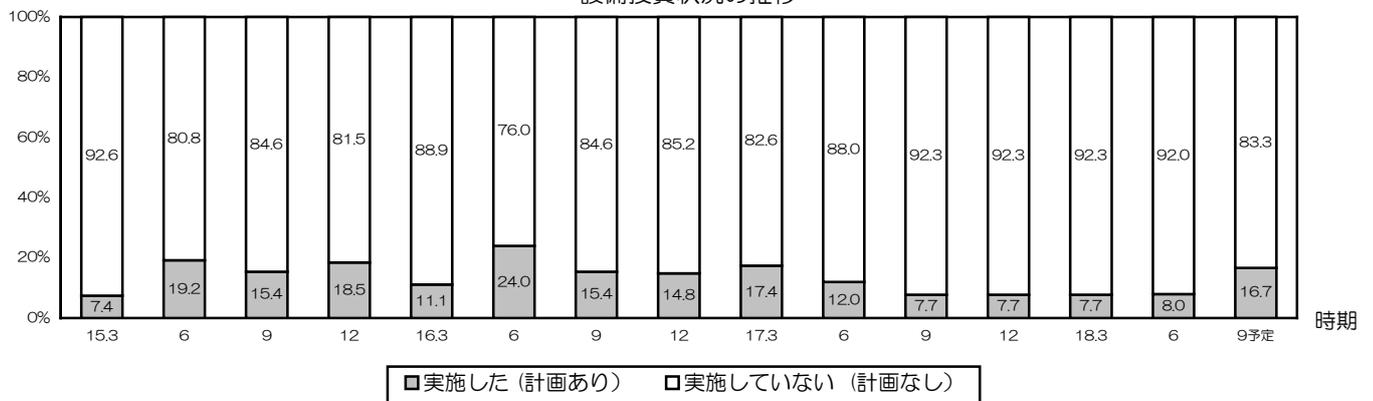
3. 設備投資の状況

今期（2018.4～6）設備投資を実施した企業の割合は8.0%と、前期（2018.1～3：7.7%）との比較で0.3ポイント増加しました。設備投資の内訳は、車輛・運搬具、OA機器が各々50.0%でした。

来期（2018.7～9）設備投資を計画する企業の割合は16.7%と、今期（2018.4～6）との比較で8.7ポイント増加する見込みです。設備投資の内訳は、車輛・運搬具、その他が各々40.0%、倉庫が20.0%となっています。



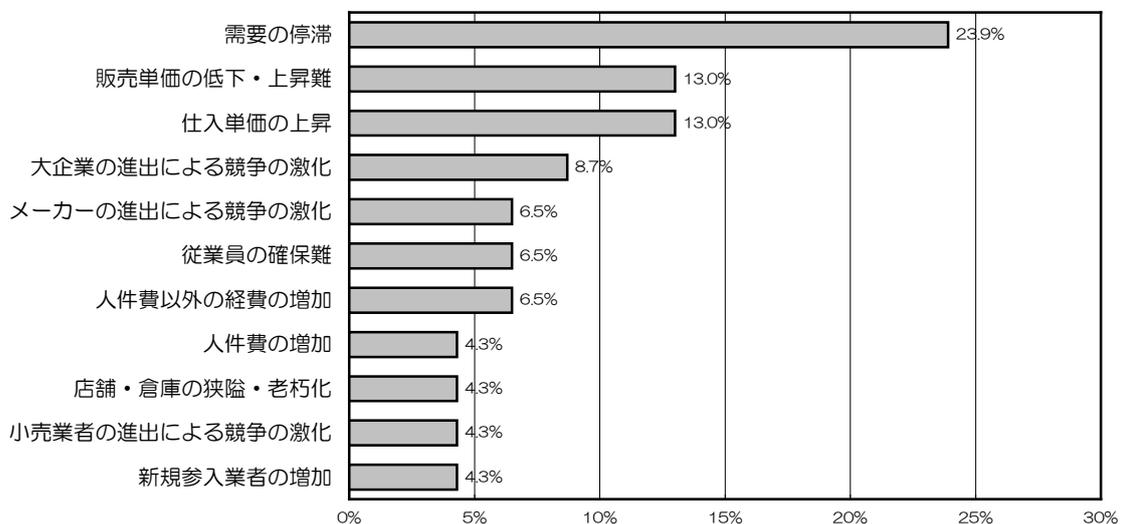
設備投資状況の推移



4. 経営上の問題点

主な経営上の問題点は、第1位が「需要の停滞」で23.9%、第2位が「販売単価の低下・上昇難」、「仕入単価の上昇」で各々13.0%、第3位が「大企業の進出による競争の激化」で8.7%、第4位が「メーカーの進出による競争の激化」、「従業員の確保難」、「人件費以外の経費の増加」で各々6.5%、第5位が「人件費の増加」、「店舗・倉庫の狭隘・老朽化」、「小売業者の進出による競争の激化」、「新規参入業者の増加」で各々4.3%という結果になりました。

今期直面している経営上の問題点（複数回答）



小売業

2018.4～6月期（回答91社・・・回答率97.8%）

1. 業況

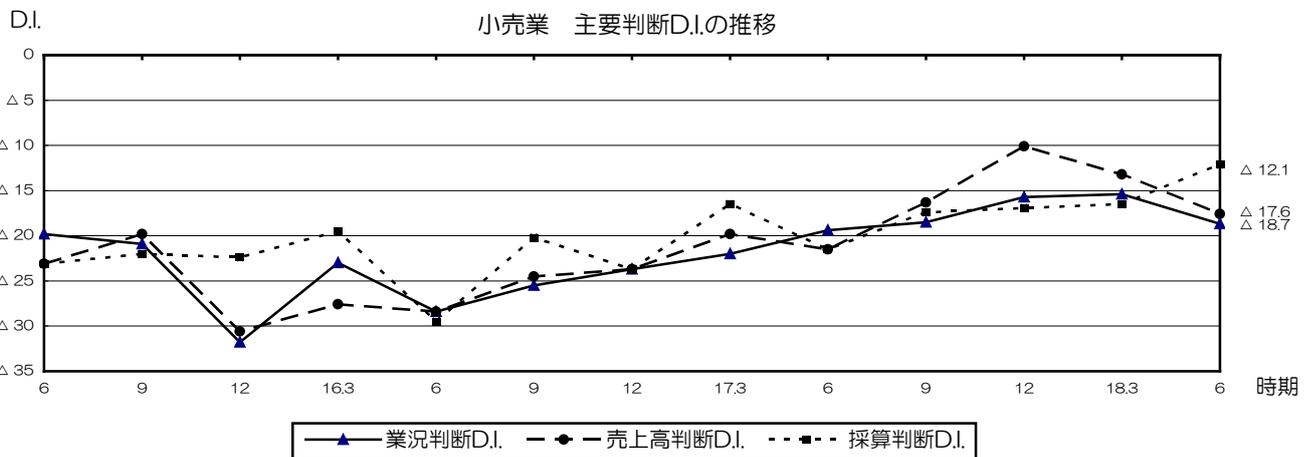
今期(2018.4～6)の業況判断D.I.は△18.7と、前期(2018.1～3：△15.4)との比較で3.3ポイント悪化し、8期ぶりに前期を下回ったほか、売上高、在庫数量、従業員増減の項目でも前期を下回る結果となっています。

全国調査との比較では、業況判断D.I.で全国調査の△30.0を11.3ポイント上回っているほか、仕入単価以外の項目で全国調査の判断D.I.を上回る結果となりました。

来期(2018.7～9)の業況判断D.I.は△22.0と、今期(2018.4～6：△18.7)との比較で3.3ポイント悪化するとしており、従来の回復基調から一転して減速が続くと予想しています。

(対前年同期比判断D.I.)

	前 期	今 期	来期見通し	全国調査
業 況	△15.4	△18.7	△22.0	△30.0
売 上 高	△13.2	△17.6	△24.2	△28.7
資 金 繰 り	△14.3	△9.9	△17.6	△19.8
採 算	△16.5	△12.1	△17.6	△29.2
売 上 単 価	△8.8	△7.7	△6.6	△18.4
仕 入 単 価	17.6	23.1	25.3	23.5
在 庫 数 量	2.2	△2.2	△4.4	△17.3
従 業 員 増 減	1.1	△1.1	0.0	△6.5



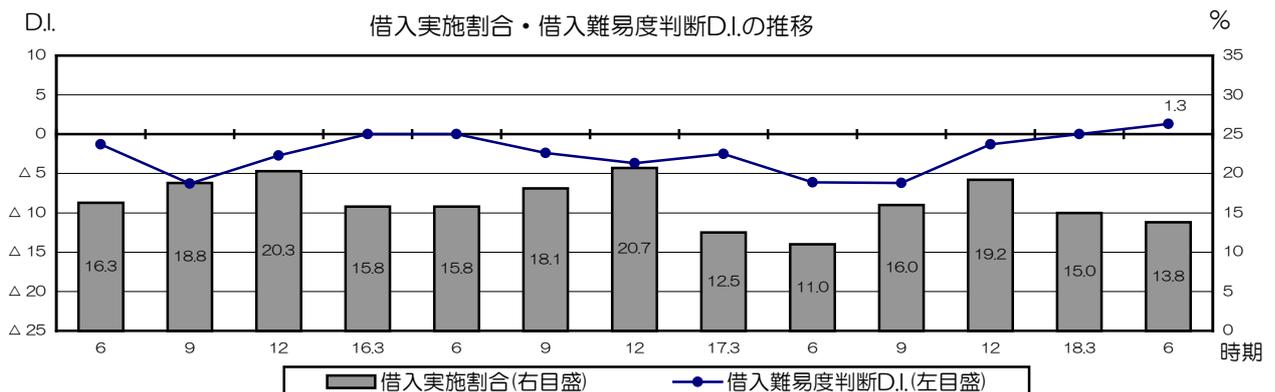
2. 借入金の状況

今期(2018.4～6)借入を実施した企業の割合は13.8%と、前期(2018.1～3：15.0%)と比較して1.2ポイント減少しました。

来期(2018.7～9)借入を予定する企業の割合は13.8%と、今期と変わらない見込みです。

借入難易度判断D.I.は今期(2018.4～6)1.3と、前期(2018.1～3：△0.0)との比較で1.3ポイント改善しています。

	前 期	今 期	来 期 予 定
借入実施割合	15.0%	13.8%	13.8%
借入難易度判断D.I.	0.0	1.3	

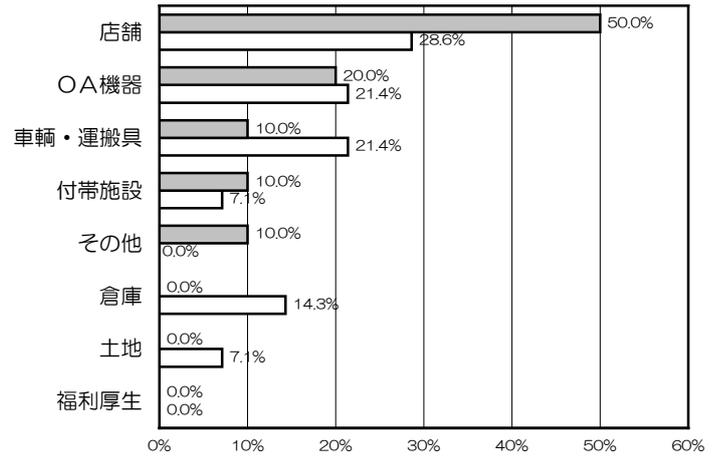
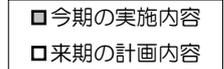


3. 設備投資の状況

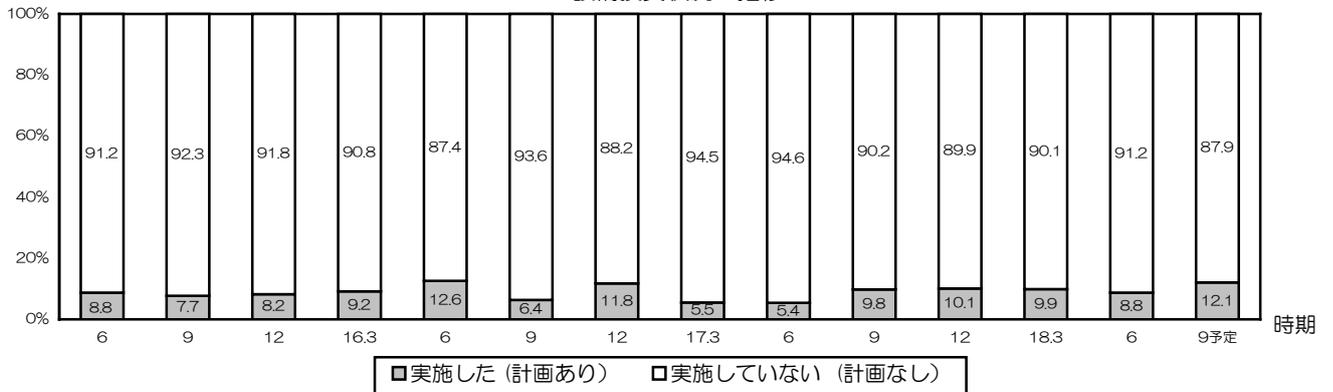
今期（2018.4～6）設備投資を実施した企業の割合は 8.8%と、前期（2018.1～3：9.9%）との比較で 1.1 ポイント減少しました。設備投資の内訳は、店舗が 50.0%、OA 機器が 20.0%、車輛・運搬具、付帯施設、その他が各々 10.0%でした。

来期（2018.7～9）設備投資を計画する企業の割合は 12.1%と、今期（2018.4～6：8.8）と比較して 3.3 ポイント増加する見込みです。設備投資の内訳は、店舗が 28.6%、OA 機器、車輛・運搬具が各々 21.4%、倉庫が 14.3%、付帯施設、土地が各々 7.1%となっています。

設備投資の実施（計画）内容（複数回答）



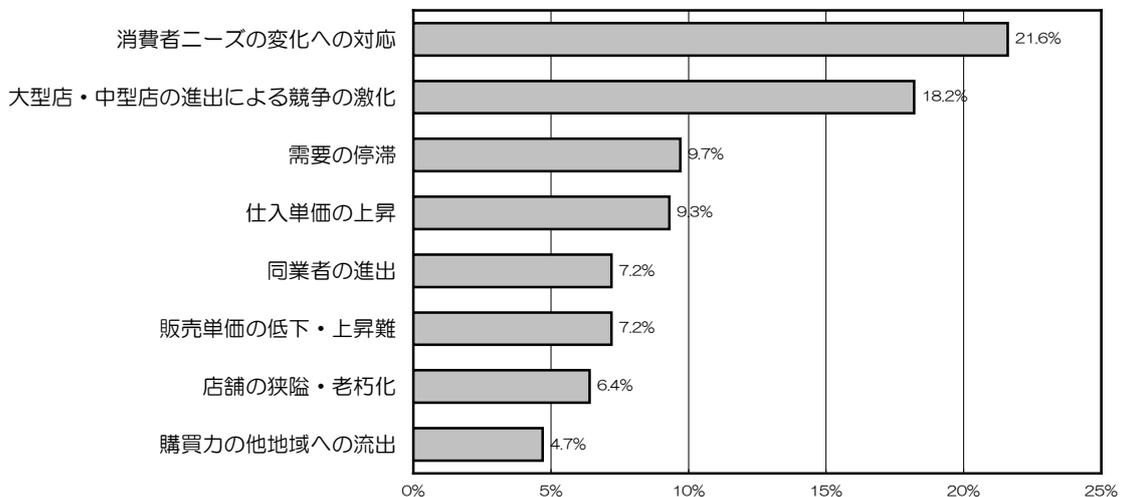
設備投資状況の推移



4. 経営上の問題点

経営上の問題点は、第1位が「消費者ニーズの変化への対応」で 21.6%、第2位が「大型店・中型店の進出による競争の激化」で 18.2%、第3位が「需要の停滞」で 9.7%、第4位が「仕入単価の上昇」で 9.3%、第5位が「同業者の進出」、「販売単価の低下・上昇難」で各々 7.2%、第6位が「店舗の狭隘・老朽化」で 6.4%、第7位が「購買力の他地域への流出」で 4.7%という結果になりました。

今期直面している経営上の問題点（複数回答）



1. 業況

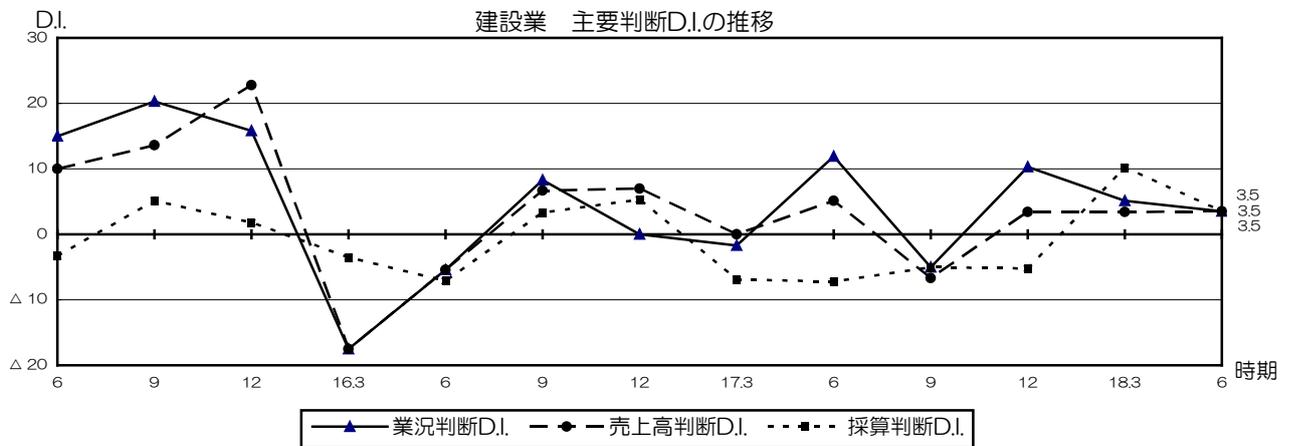
今期 (2018.4~6) の業況判断 D.I. は 3.5 と、前期 (2018.1~3 : 5.1) との比較で 1.6 ポイント悪化しているほか、売上高、材料単価以外の項目で前期を下回っています。

全国調査との比較では、業況判断 D.I. で全国調査の Δ6.6 を 10.1 ポイント上回っているほか、材料単価、従業員増減以外の項目で全国調査の判断 D.I. を上回る結果となりました。

来期 (2018.7~9) の業況判断 D.I. は 14.0 と、今期 (2018.4~6) との比較で 10.5 ポイント改善すると予想しているほか、材料単価以外の項目で今期を上回ると予想しています。

(対前年同期比判断 D.I.)

	前 期	今 期	来期見通し	全国調査
業 況	5. 1	3. 5	14. 0	Δ6. 6
売 上 高	3. 4	3. 5	19. 3	Δ10. 1
資 金 繰 り	6. 8	Δ1. 8	3. 5	Δ2. 5
採 算	10. 2	3. 5	8. 8	Δ12. 6
受 注 額	5. 1	3. 5	15. 8	Δ11. 0
材 料 単 価	22. 0	24. 6	21. 1	40. 6
従 業 員 増 減	Δ1. 7	Δ3. 5	Δ1. 8	Δ2. 2



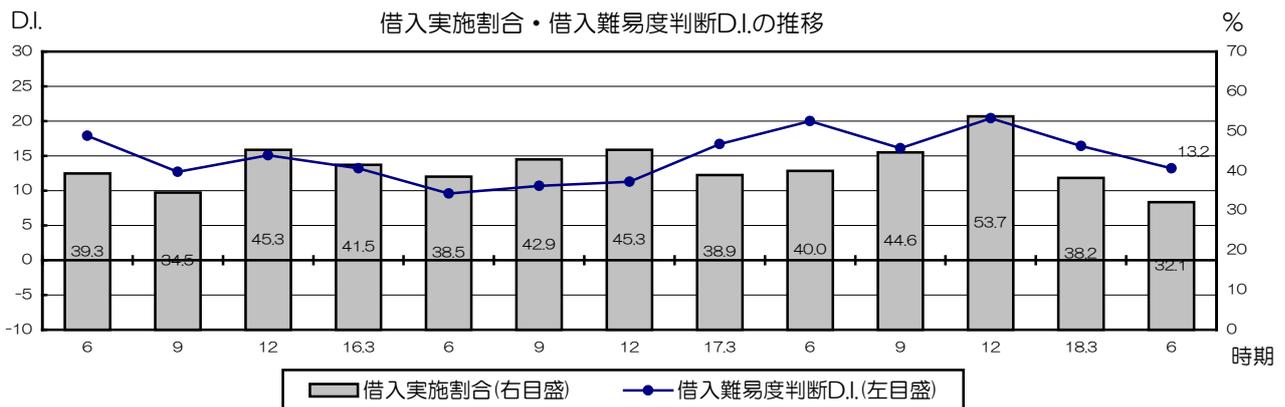
2. 借入金の状況

今期 (2018.4~6) 借入を実施した企業の割合は 32.1% と、前期 (2018.1~3 : 38.2%) と比較して 6.1 ポイント減少しました。

来期 (2018.7~9) 借入を予定する企業の割合は 43.4% と 11.3 ポイント増加する見込みです。

借入難易度判断 D.I. は今期 (2018.4~6) 13.2 と、前期 (2018.1~3 : 16.4) との比較では 3.2 ポイント悪化しています。

	前 期	今 期	来 期 予 定
借入実施割合	38. 2%	32. 1%	43. 4%
借入難易度判断 D.I.	16. 4	13. 2	

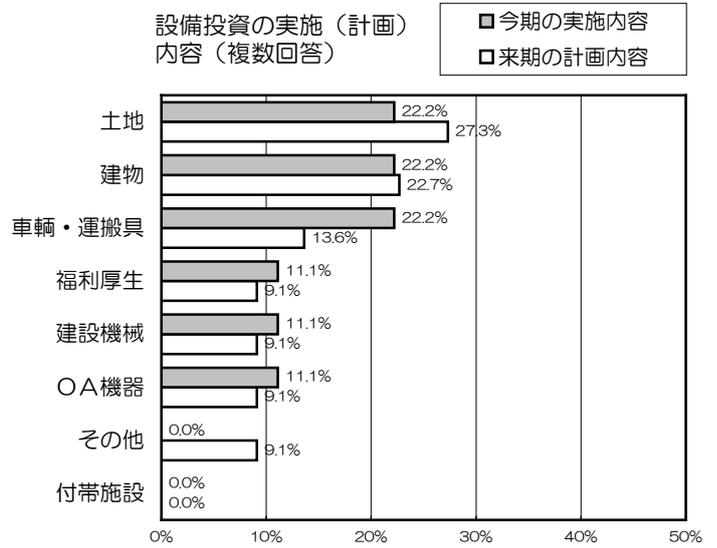


3. 設備投資の状況

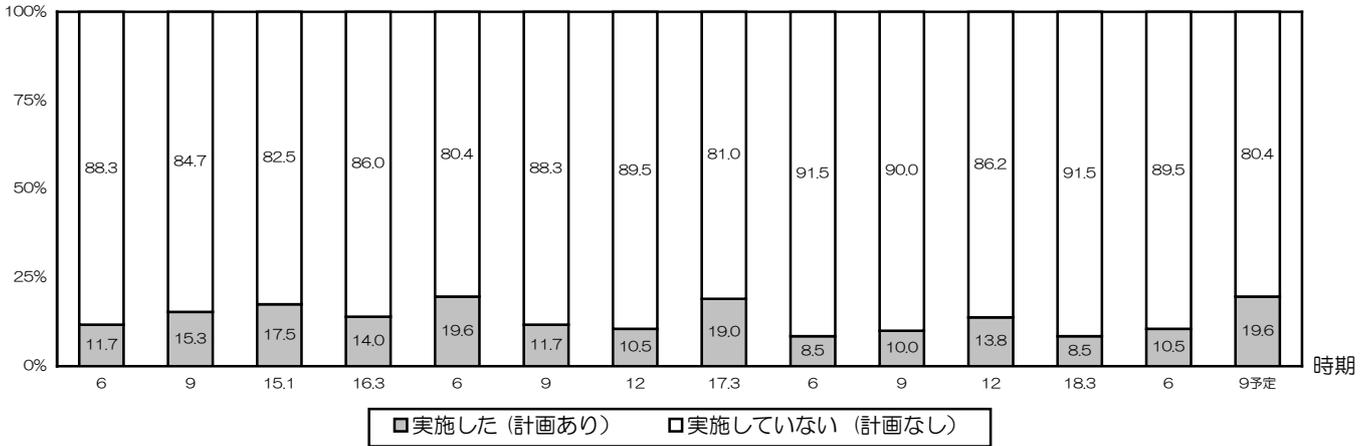
今期（2018.4～6）設備投資を実施した企業の割合は10.5%と、前期（2018.1～3：8.5%）との比較で2.0ポイント増加しました。

設備投資の内訳は、土地、建物、車輛・運搬具が各々22.2%、福利厚生、建設機械、OA機器が各々が11.1%でした。

来期（2018.7～9）設備投資を計画する企業の割合は19.6%と、今期（2018.4～6）との比較で9.1ポイント増加する見込みです。設備投資の内訳は、土地が27.3%、建物が22.7%、車輛・運搬具が13.6%、福利厚生、建設機械、OA機器、その他が各々9.1%となっています。



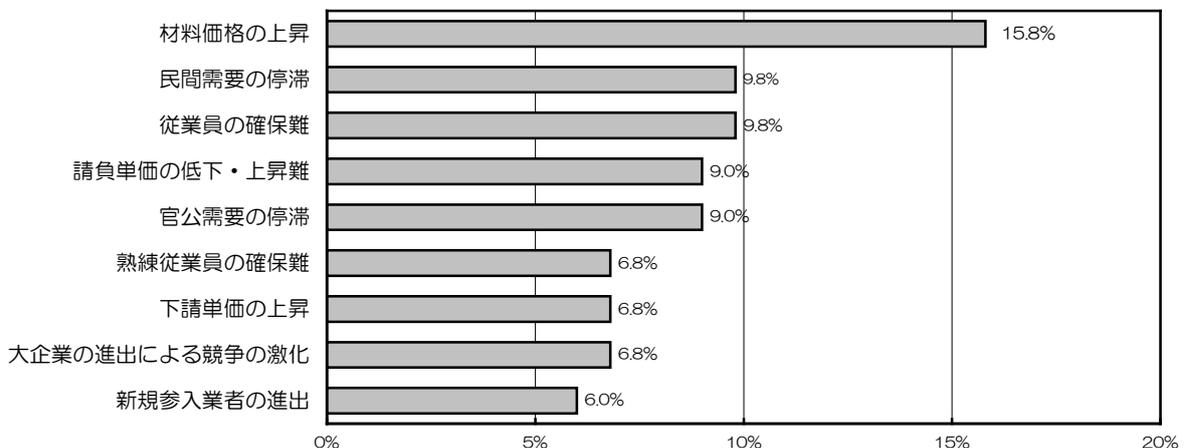
設備投資状況の推移



4. 経営上の問題点

経営上の問題点は、第1位が「材料価格の上昇」で15.8%、第2位が「民間需要の停滞」、「従業員の確保難」で各々9.8%、第3位が「請負単価の低下・上昇難」、「官公需要の停滞」で各々9.0%、第4位が「熟練従業員の確保難」、「下請単価の上昇」、「大企業の進出による競争の激化」で各々6.8%、第5位が「新規参入業者の進出」で6.0%という結果になりました。

今期直面している経営上の問題点（複数回答）



サービス業

2018.4~6月期 (回答 81 社・・・回答率 94.2%)

1. 業況

今期(2018.4~6)の業況判断 D.I.は△11.1 と、前期(2018.1~3: △8.6) との比較で 2.5 ポイント悪化している一方で、業況以外の全項目で前期を上回っています。

全国調査との比較では、業況判断 D.I.で全国調査の△14.6 を 3.5 ポイント上回っているほか、客単価、仕入単価以外の項目で全国調査の判断 D.I.を上回っています。

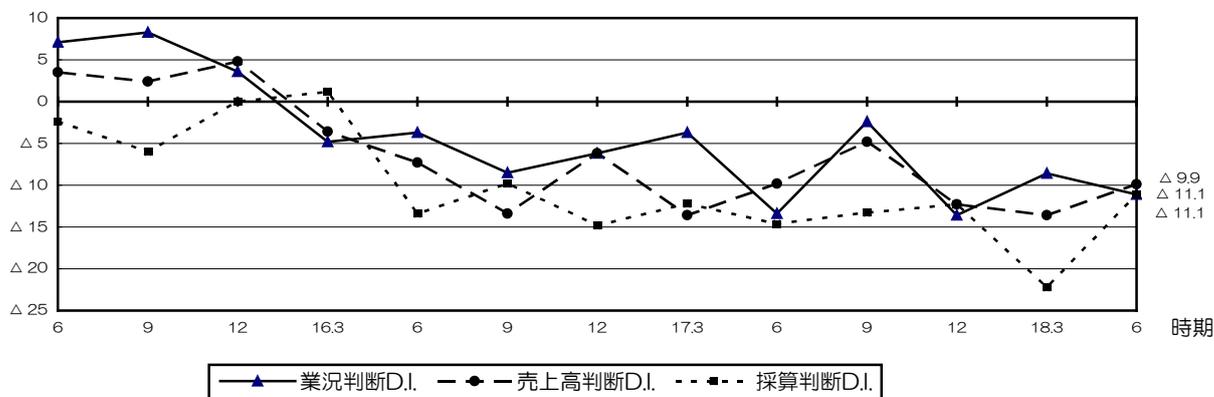
来期(2018.7~9)の業況判断 D.I.は△7.4 と、

今期(2018.4~6)との比較で 3.7 ポイント改善すると予想しているほか、資金繰り、客単価、従業員増減の項目で今期を上回ると予想しています。

(対前年同期比判断 D.I.)

	前 期	今 期	来期見通し	全国調査
業 況	△8.6	△11.1	△7.4	△14.6
売 上 高	△13.6	△9.9	△13.6	△13.9
資 金 繰 り	△8.6	△4.9	△3.7	△10.6
採 算	△22.2	△11.1	△11.1	△18.7
客 単 価	△14.8	△7.4	△6.2	△6.2
仕 入 単 価	13.6	21.3	20.0	33.8
従 業 員 増 減	0.0	1.3	7.6	△5.1

D.I. サービス業 主要判断D.I.の推移



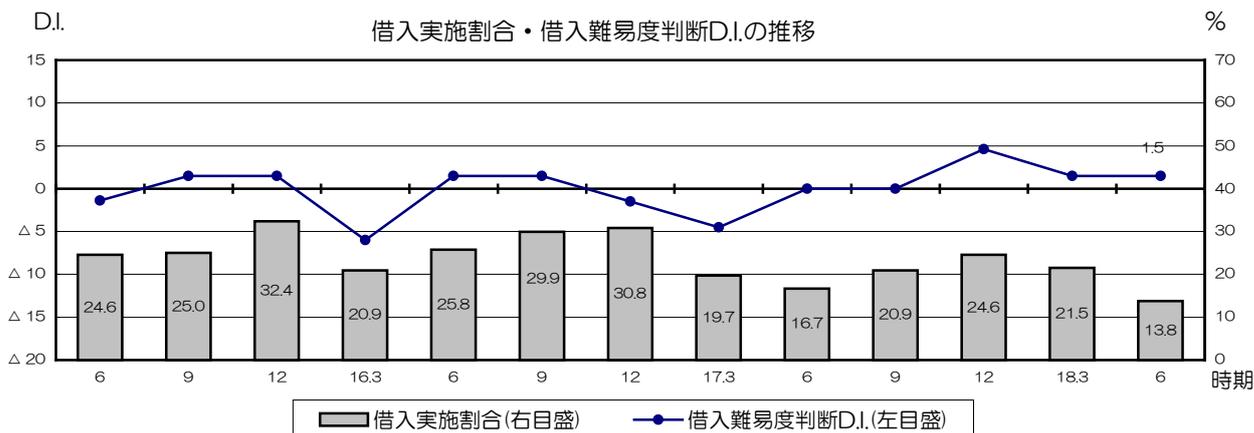
2. 借入金の状況

今期(2018.4~6)借入を実施した企業の割合は 13.8%と、前期(2018.1~3)の 21.5% と比較して 7.7 ポイント減少しました。

来期(2018.7~9)借入を予定する企業の割合は 16.9%と、今期(2018.4~6)との比較で 3.1 ポイント増加する見込みです。

借入難易度判断 D.I.は今期(2018.4~6) 1.5 と、前期(2018.1~3: 1.5) との比較では変化がありません。

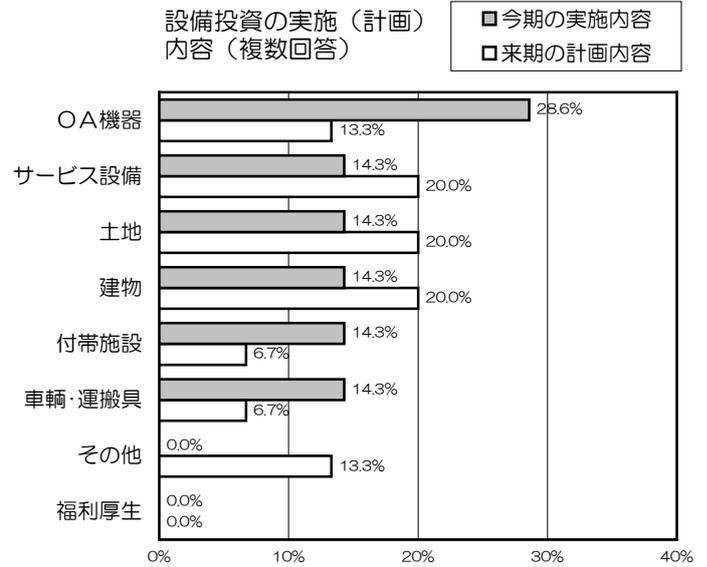
	前 期	今 期	来 期 予 定
借入実施割合	21.5%	13.8%	16.9%
借入難易度判断 D.I.	1.5	1.5	



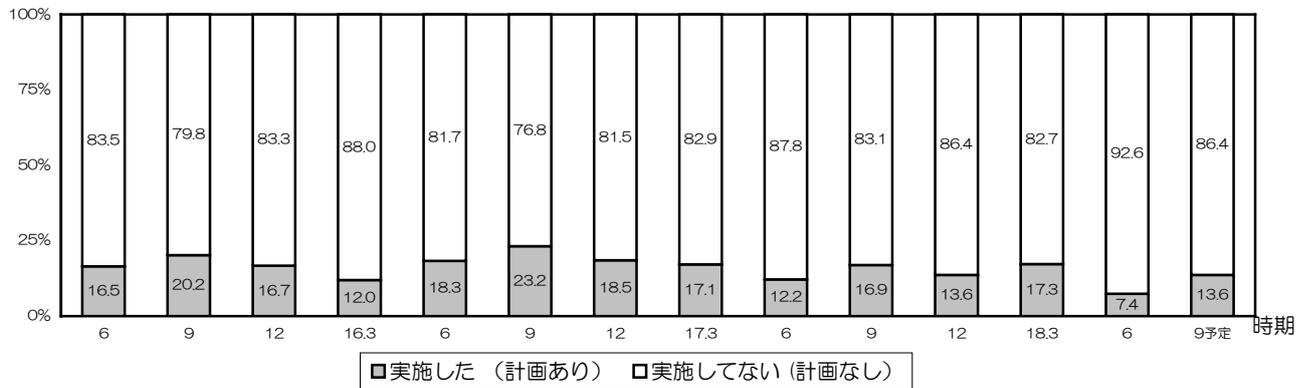
3. 設備投資の状況

今期（2018.4～6）設備投資を実施した企業の割合は 7.4%と、前期（2018.1～3：17.3%）との比較で 9.9 ポイント減少しました。設備投資の内訳は、OA機器が 28.6%、サービス設備、土地、建物、付帯施設、車輛・運搬具が各々14.3%でした。

来期（2018.7～9）設備投資を計画する企業の割合は 13.6%と、今期（2018.4～6）と比較して 6.2 ポイント増加の見込みです。設備投資の内訳は、サービス設備、土地、建物が各々20.0%、OA機器、その他が各々13.3%、付帯施設、車輛・運搬具が各々6.7%となっています。



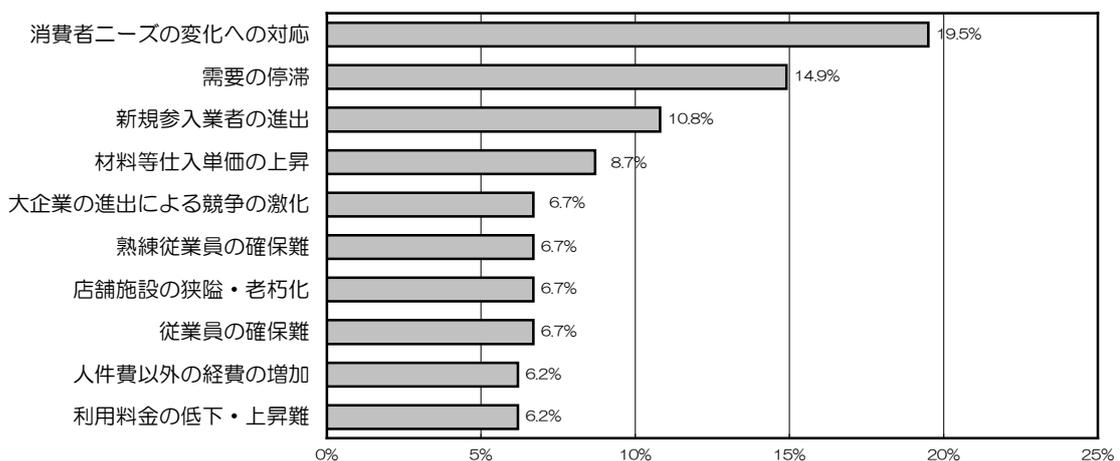
設備投資状況の推移



4. 経営上の問題点

主な経営上の問題点は、第1位が「消費者ニーズの変化への対応」で 19.5%、第2位が「需要の停滞」で 14.9%、第3位が「新規参入業者の進出」で 10.8%、第4位が「材料等仕入単価の上昇」で 8.7%、第5位が「大企業の進出による競争の激化」、「熟練従業員の確保難」、「店舗施設の狭隘・老朽化」「従業員の確保難」で各々6.7%、第6位が「人件費以外の経費の増加」、「利用料金の低下・上昇難」で各々6.2%という結果になりました。

今期直面している経営上の問題点（複数回答）

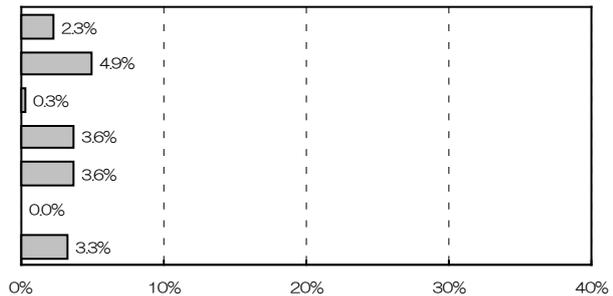


「中小企業経営に関する各種支援制度の利用について」

問1 国や都道府県等では、中小企業支援に係る 補助金や助成金制度 が用意されています。それらの中で貴社が特に役立ったとお考えのものはございますか。下記の1～7の中から1つ選んでお答えください。また、いままでに活用したことがない場合、その理由を8～10の中から1つ選んでお答えください。

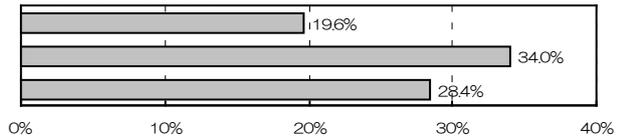
1. 経営改善・事業再生・M&A
2. 研究開発・設備投資（ITを除く）
3. IT投資
4. 雇用・人材・健康
5. 展示会出展・販路拡大
6. 海外展開
7. 省エネルギー・環境

<活用したことがある>



8. 手間や費用がかかる、審査が厳しい
9. 自社にとって適当な補助金・助成金がない
10. そもそも知らない・関心がない

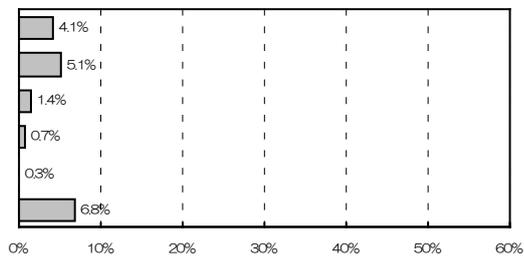
<活用したことがない>



問2 貴社では、これまで参加した公的機関や金融機関等が主催する 商談会やビジネスフェア のなかで、役に立ったとお考えのものはありますか。下記の1～6の中から1つ選んでお答えください。また、参加したことがない場合、7～9の中から1つ選んでお答えください。

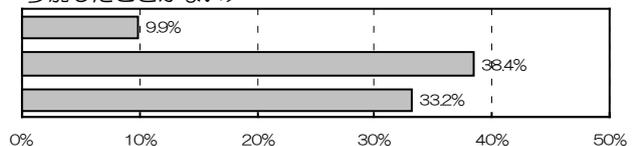
1. ビジネスフェア（業者向け）に出展
2. ビジネスフェア（業者向け）に来場
3. 消費者向けビジネスフェア・即売会に出展
4. バイヤーを招いた個別商談会
5. インターネット上でのビジネスマッチング
6. 参加したが役に立たなかった

<参加したことがある>



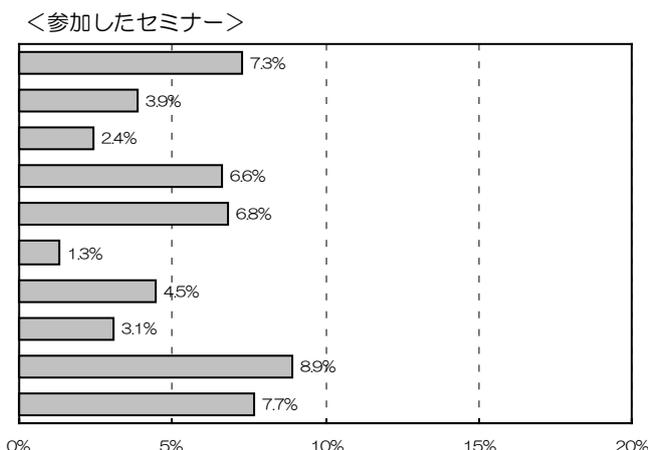
7. 手間や費用等がかかるため
8. 自社にとって適当な商談会等がない
9. そもそも知らない・関心がない

参加したことがない



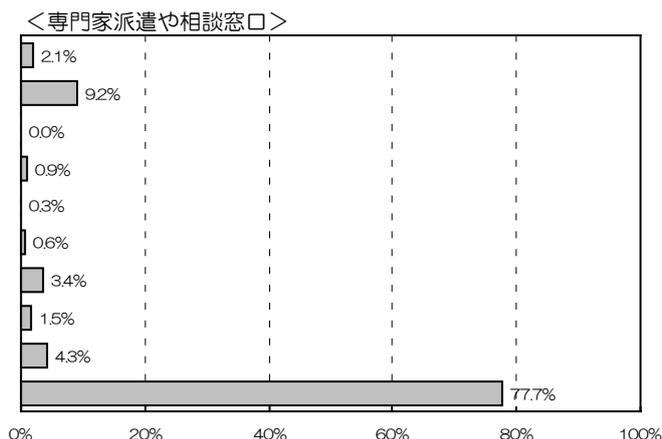
問3 貴社では、これまで公的機関等が主催する セミナーに参加したことがありますか。参加したことがある場合、1～9の中から特に役に立ったテーマを 3つ以内でお答えください。

1. 技術承継・相続・M&A支援
2. 技術・サービス強化
3. IT活用
4. 人材確保・育成
5. 販路拡大・マーケティング
6. 海外進出
7. 業務改善・経費節減
8. 税務相談
9. 補助金活用
10. 参加したことがない



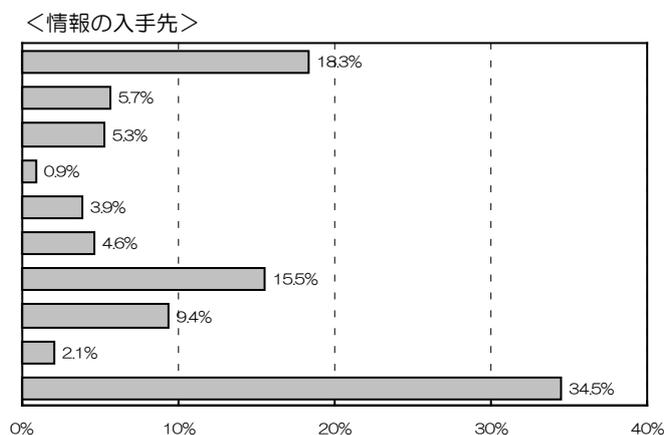
問4 貴社では、公的機関や金融機関が行っている 専門家派遣や相談窓口を利用したことはありますか。利用したことがある場合、特に役に立った分野について1～9の中から 3つ以内でお答えください。

1. 法律
2. 税務・財務・会計
3. 輸出入・海外投資
4. IT関連
5. 知的財産権
6. 設計・デザイン
7. 人事・労務
8. 技術・サービス開発
9. 販路開拓・営業支援
10. 利用したことがない



問5 上記の間 1～4 のような支援制度を利用するにあたり、それらの情報を主にどこから入手しましたか。当てはまるものを1～10の中から 3つ以内でお答えください。

1. メインバンク
2. メインバンク以外の金融機関
3. 公的機関（区市町村・中小機構等）
4. マスメディア
5. 各種専門家
6. インターネット
7. 商工会議所・商工会
8. 知人・同業者等
9. その他
10. いずれの支援制度も利用していない



集計結果 (2018. 4~6月期)

(単位：%)

		今期の状況								来期見通し			
		対前年同期比				対前期比				対前年同期比			
		良い	不変	悪い	D.I.	良い	不変	悪い	D.I.	良い	不変	悪い	D.I.
全業種	業況	11.7	66.1	22.2	△10.6	8.6	74.2	17.2	△8.6	9.7	74.2	16.1	△6.4
	売上	14.7	61.4	23.9	△9.2	13.1	65.6	21.4	△8.3	12.5	68.6	18.9	△6.4
	資金繰り	6.1	80.0	13.9	△7.8	3.1	84.2	12.8	△9.7	5.0	82.8	12.2	△7.2
	採算	6.4	77.5	16.1	△9.7					5.3	81.1	13.6	△8.4
	従業員増減	8.9	84.1	7.0	2.0					6.5	90.2	3.4	3.1
	借入難易度					11.9	80.0	8.1	3.9				
製造業	業況	18.9	53.8	27.4	△8.5	10.4	72.6	17.0	△6.6	13.2	71.7	15.1	△1.9
	売上	19.8	51.9	28.3	△8.5	15.1	63.2	21.7	△6.6	17.9	65.1	17.0	0.9
	資金繰り	8.5	73.6	17.9	△9.4	2.8	86.8	10.4	△7.5	6.6	82.1	11.3	△4.7
	採算	5.7	76.4	17.9	△12.3					4.8	82.9	12.4	△7.6
	原材料単価	30.2	69.8	0.0	30.2					23.6	75.5	0.9	22.6
	原材料在庫	4.7	88.7	6.6	△1.9					4.7	90.6	4.7	0.0
	従業員増減	14.2	80.2	5.7	8.5					9.4	87.7	2.8	6.6
	設備操業率	8.5	75.5	16.0	△7.5					10.4	81.1	8.5	1.9
借入難易度					14.1	73.9	12.0	2.2					
卸売業	業況	4.0	72.0	24.0	△20.0	4.0	76.0	20.0	△16.0	4.0	80.0	16.0	△12.0
	売上	16.0	60.0	24.0	△8.0	8.0	72.0	20.0	△12.0	8.0	76.0	16.0	△8.0
	資金繰り	0.0	84.0	16.0	△16.0	0.0	84.0	16.0	△16.0	0.0	84.0	16.0	△16.0
	採算	8.0	68.0	24.0	△16.0					4.0	84.0	12.0	△8.0
	売上単価	12.0	80.0	8.0	4.0					8.0	88.0	4.0	4.0
	仕入単価	16.0	84.0	0.0	16.0					16.0	84.0	0.0	16.0
	在庫数量	8.0	84.0	8.0	0.0					4.0	88.0	8.0	△4.0
	従業員増減	4.0	96.0	0.0	4.0					0.0	96.0	4.0	△4.0
	借入難易度					10.0	85.0	5.0	5.0				
小売業	業況	4.4	72.5	23.1	△18.7	6.6	72.5	20.9	△14.3	1.1	75.8	23.1	△22.0
	売上	7.7	67.0	25.3	△17.6	8.8	65.9	25.3	△16.5	2.2	71.4	26.4	△24.2
	資金繰り	4.4	81.3	14.3	△9.9	3.3	79.1	17.6	△14.3	1.1	80.2	18.7	△17.6
	採算	2.2	83.5	14.3	△12.1					1.1	80.2	18.7	△17.6
	売上単価	5.5	81.3	13.2	△7.7					7.7	78.0	14.3	△6.6
	仕入単価	24.2	74.7	1.1	23.1					26.4	72.5	1.1	25.3
	在庫数量	5.5	86.8	7.7	△2.2					3.3	89.0	7.7	△4.4
	従業員増減	4.5	89.9	5.6	△1.1					3.4	93.3	3.4	0.0
	借入難易度					10.0	81.3	8.8	1.3				
建設業	業況	15.8	71.9	12.3	3.5	8.8	78.9	12.3	△3.5	21.1	71.9	7.0	14.0
	売上	17.5	68.4	14.0	3.5	12.3	73.7	14.0	△1.8	28.1	63.2	8.8	19.3
	資金繰り	5.3	87.7	7.0	△1.8	1.8	89.5	8.8	△7.0	8.8	86.0	5.3	3.5
	採算	8.8	86.0	5.3	3.5					10.5	87.7	1.8	8.8
	受注額	15.8	71.9	12.3	3.5					22.8	70.2	7.0	15.8
	材料単価	26.3	71.9	1.8	24.6					21.1	78.9	0.0	21.1
	従業員増減	7.0	82.5	10.5	△3.5					5.3	87.7	7.0	△1.8
	借入難易度					15.1	83.0	1.9	13.2				
サービス業	業況	9.9	69.1	21.0	△11.1	9.9	74.1	16.0	△6.2	8.6	75.3	16.0	△7.4
	売上	13.6	63.0	23.5	△9.9	17.3	60.5	22.2	△4.9	7.4	71.6	21.0	△13.6
	資金繰り	7.4	80.2	12.3	△4.9	4.9	82.7	12.3	△7.4	6.2	84.0	9.9	△3.7
	採算	9.9	69.1	21.0	△11.1					7.4	74.1	18.5	△11.1
	客単価	8.6	75.3	16.0	△7.4					8.6	76.5	14.8	△6.2
	仕入単価	22.5	76.3	1.3	21.3					21.3	77.5	1.3	20.0
	従業員増減	8.9	83.5	7.6	1.3					8.9	89.9	1.3	7.6
	借入難易度					9.2	83.1	7.7	1.5				

伊勢崎佐波地区 景気動向調査 No.61

発行 伊勢崎商工会議所 経営支援課

群馬県伊勢崎市昭和町3919

TEL0270-24-2211

<http://www.isesaki-ccior.jp>

アイオー信用金庫 経営企画部

群馬県伊勢崎市中央町20番17号

TEL0270-30-5001

<http://www.io-web.jp>

このレポートは、調査時点における当金庫及び当商工会議所の見解をまとめたもので、情報提供を目的としております。また、当金庫及び当商工会議所が信頼できると判断した情報やデータに基づいてこの資料は作成しておりますが、この情報の正確性・安全性等について当金庫及び当商工会議所が保証するものではありません。

このレポートの活用に関しては何の制限もございませんが、施策の決定や実行などの最終決定は、ご自身の判断でなされますようお願いいたします。